

折に触れ 四字熟語

NO. 253 〔厭離穢土〕 えんり えど

< 意味 > この世をけがれたものとして、嫌い離れること。おんりえどとも読む。

用 例 : 北山の深い雪のなかの修行の話などは、いかにも厭離穢土の果てにくる真言開眼の瞬間を思わせて、<辻邦生・西行花伝>

語 釈 : 厭離穢土は仏教語。「厭離」はけがれを嫌って離れる意。「穢土」はけがれた世界。現世のこと。この世。「穢」はよごれる、けがれる意。

一 言 : 今年のNHK大河ドラマは「どうする家康」です。徳川家康の軍の旗印には「厭離穢土こんぐ欣求じょうど浄土」と記されていたそうです。私は「どうする家康」を観ていないのでその旗印が出たかどうかは分かりませんが、2回にわたってこの2つの四字熟語を取り上げます。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」